

政策評価・施策評価の評価結果について

宮城県行政評価委員会の答申で示された意見を踏まえて、県の評価原案を見直し、最終的な県の評価結果を作成しました。

その状況は、次のとおりです。

1 宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画の体系の政策・施策評価（最終）

政策評価・施策評価（最終） （政策・施策の成果）		評価の区分				計
		順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	
政策評価 （政策数）	基本方向別内訳	0 (0)	11 (11)	3 (3)	0 (0)	14
	富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～	0	4	1	0	5
	安心と活力に満ちた地域社会づくり	0	3	2	0	5
	人と自然が調和した美しく安全な県土づくり	0	4	0	0	4
	（参考）評価原案	0	11	3	0	14
施策評価 （施策数）	基本方向別内訳	1 (2)	26 (25)	6 (6)	0 (0)	33
	富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～	0	11	1	0	12
	安心と活力に満ちた地域社会づくり	1	8	5	0	14
	人と自然が調和した美しく安全な県土づくり	0	7	0	0	7
	（参考）評価原案	1	26	6	0	33

()は平成22年度実績

2 宮城県震災復興計画及び震災復興実施計画の体系の政策・施策評価（最終）

政策評価・施策評価（最終） （政策・施策の成果）		評価の区分				計
		順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	
政策評価 （政策数）	評価結果	0	7	0	0	7
	（参考）評価原案	0	7	0	0	7
施策評価 （施策数）	評価結果	2	20	2	0	24
	（参考）評価原案	2	20	2	0	24

なお、各政策評価・施策評価の評価結果の一覧は、別紙の「評価状況一覧表」中、「評価結果 政策・施策の成果」欄を御覧ください。

政策評価・施策評価 評価状況一覧表 【評価結果】

(1) 宮城の将来ビジョン及び将来ビジョン・震災復興実施計画の体系

政策番号	政策名	評価原案 政策の成果	県の評価 原案に対する 宮城県評価委員 の判断	原案の 行政委員会 の決定	評価結果 政策の成果	施策番号	施策名	評価原案 施策の成果	県の評価 原案に対する 宮城県評価委員 の判断	原案の 行政委員会 の決定	評価結果 施策の成果	【参考】	
												目標指標等の名称及び達成度	
政策推進の基本方向1 富県宮城の実現 - 県内総生産10兆円への挑戦 -													
1	育成・誘致による 県内製造業の集 積促進	概ね順調	概ね適切 (適切)	概ね順調 (概ね順調) (※)	1	地域経済を力強く けん引するものづく り産業(製造業)の 振興	概ね順調 (概ね順調)	適切 (適切)	概ね順調 (概ね順調)	製造品出荷額等(食料品製造業を除く)	B	製造品出荷額等(高度電子機械産業分)	C
											製造品出荷額等(自動車産業分)		C
											企業立地(食品関連産業等を除く)件数(うち 高度電子機械産業、自動車関連産業及び クリーンエネルギー産業)		C
											企業集積等による雇用機会の創出数		B
											産業技術総合センターによる技術改善支援 件数		A
											産学官連携数		A
2	観光資源、知的資産 を活用した商 業・サービス産業 の強化	概ね順調 (概ね順調)	概ね適切 (適切)	概ね順調 (概ね順調) (※)	4	高付加価値型 サービス産業・情 報産業及び地域 商業の振興	概ね順調 (概ね順調)	概ね適切 (概ね適切)	概ね順調 (概ね順調) (※)	サービス業の付加価値額	B	情報関連産業売上高	C
										企業立地件数(開発系IT企業(ソフトウェア 開発企業))	B		
										観光客入込数	A		
										観光消費額	C		
										主要な都市農山漁村交流拠点施設の利用 人口	A		
										3	地域経済を支える 農林水産業の競 争力強化	概ね順調 (概ね順調)	適切 (適切)
新規需要米(米粉用米、飼料用米)の作付 面積	B												
園芸作物産出額	C												
アグリビジネス経営体数	B												
林業産出額	C												
優良みやぎ材の出荷量	A												
漁業生産額	B												
主要5漁港(気仙沼・志津川・女川・石巻・塩 釜)における水揚げ金額	B												
水産加工品出荷額	B												
学校給食の地場産野菜などの利用品目数 の割合	B												
県内木材需要に占める県産材シェア	A												
環境保全型農業栽培面積	B												
みやぎ食の安全安心取組宣言者数	A												
4	アジアに開かれた 広域経済圏の形 成	やや 遅れている (概ね順調)	適切 (適切)	やや 遅れている (概ね順調)	8	県内企業のグロー バルビジネスの推 進と外資系企業の 立地促進	やや 遅れている (概ね順調)	適切 (適切)	やや 遅れている (概ね順調)				
										企業誘致件数(進出外資系企業数)	B		
										全国平均と比較した東北地方の一人当たり 県民所得の割合	A		
										東北地方の転入超過数(他ブロックとの比 較順位)	B		
										東北地方の宿泊者数(延べ宿泊者数)	B		
										東北地方の完成自動車の港湾取扱貨物量 (輸移出入)	C		

政策番号	政策名	評価原案 政策の成果	県の評価 に 対 し て の 評 価 委 員 会 の 評 定	原案の 行政 会 定	評価結果 政策の成果	施策番号	施策名	評価原案 施策の成果	県の評価 に 対 し て の 評 価 委 員 会 の 評 定	原案の 行政 会 定	評価結果 施策の成果	【参 考】	
												目標指標等の名称及び達成度	
5	産業競争力の強化に向けた条件整備	概ね順調 (概ね順調)	適切 (適切)	概ね順調 (概ね順調)	概ね順調 (概ね順調)	10	産業活動の基礎となる人材の育成・確保	概ね順調 (概ね順調)	概ね適切 (適切)	概ね順調 (概ね順調)	※	ライフステージに応じた基幹プログラムの推進数	A
												県が関与する高度人材養成事業の受講者数	A
												基幹産業関連公共職業訓練の修了者数	A
												県立高等学校生徒のインターンシップ参加人数	B
												第一次産業における新規就業者数	B
												創業や経営革新の支援件数	B
												農業経営改善計画の認定数(認定農業者数)	C
												集落営農数	A
												仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量	A
												仙台塩釜港(仙台港区)の取扱貨物量(コンテナ貨物除き)	A
												仙台空港利用者数	C
												仙台空港国際線利用者数	A
高速道路のインターチェンジに40分以内で到達可能な人口の割合	A												

政策推進の基本方向2 安心と活力に満ちた地域社会づくり

6	子どもを生き育てやすい環境づくり	やや遅れている (やや遅れている)	適切 (適切)	やや遅れている (やや遅れている)	13	次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり	やや遅れている (やや遅れている)	適切 (適切)	やや遅れている (やや遅れている)	合計特殊出生率	B
										育児休業取得率(男性)	C
										育児休業取得率(女性)	C
										保育所入所待機児童数(仙台市を除く)	B
7	将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり	概ね順調 (やや遅れている)	適切 (適切)	概ね順調 (やや遅れている)	15	着実な学力向上と希望する進路の実現	概ね順調 (やや遅れている)	適切 (適切)	概ね順調 (やや遅れている)	朝食を欠食する児童の割合(小学6年生)	N
										学校と地域が協働した教育活動(学社融合事業)に取り組む小・中学校の割合	A
										児童生徒の家庭等での学習時間(小学6年生:30分以上の児童の割合)	N
										児童生徒の家庭等での学習時間(中学3年生:1時間以上の生徒の割合)	N
										児童生徒の家庭等での学習時間(高校2年生:2時間以上の生徒の割合)	B
										「授業が分かる」と答える児童生徒の割合(小学6年生)	N
										「授業が分かる」と答える児童生徒の割合(中学3年生)	N
										「授業が分かる」と答える児童生徒の割合(高校2年生)	A
					全国平均正答率とのかい離(小学6年生)	N					
					全国平均正答率とのかい離(中学3年生)	N					
					大学等への現役進学達成率の全国平均値とのかい離	A					
					新規高卒者の就職決定率の全国平均値とのかい離	C					
					体験活動やインターンシップ等の参加人数(小学生の農林漁業体験)	A					
					体験活動やインターンシップ等の参加人数(中学生の職場体験)	A					
					体験活動やインターンシップ等の参加人数(高校生のインターンシップ)	B					
					16	豊かな心と健やかな体の育成	やや遅れている (やや遅れている)	適切 (適切)	やや遅れている (やや遅れている)	16	
不登校児童生徒の在籍者比率(中学校)	B										
不登校児童生徒の在籍者比率(高等学校)	C										
不登校児童生徒の再登校率(小・中)	C										
児童生徒の体力・運動能力調査で過去7年間の最高値を超えた項目数の割合	C										
17	児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり	概ね順調 (概ね順調)	適切 (適切)	概ね順調 (概ね順調)	17		概ね順調 (概ね順調)	適切 (適切)	概ね順調 (概ね順調)	外部評価を実施する学校の割合(小学校)	A
										外部評価を実施する学校の割合(中学校)	A
										外部評価を実施する学校の割合(高等学校)	A
										学校外の教育資源を活用している高校の割合	C
特別支援学校の児童生徒が居住地の小・中学校の児童生徒と交流及び共同学習した割合	C										

政策番号	政策名	評価原案 政策の成果	原案の 評価 結果 判定	評価結果 政策の成果	施策番号	施策名	評価原案 施策の成果	原案の 評価 結果 判定	評価結果 施策の成果	【参 考】	
										目標指標等の名称及び達成度	
8	生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	概ね順調 (やや遅れている)	適切 (適切)	概ね順調 (やや遅れている)	18	多様な就業機会や就業環境の創出	概ね順調 (やや遅れている)	適切 (適切)	概ね順調 (やや遅れている)	基金事業における新規雇用者数	A
										高年齢者雇用率	A
										新規高卒者の就職内定率	A
										ジョブカフェ利用者(併設の仙台学生職業センターを含む)の就職者数	A
										障害者雇用率	B
										介護職員数	A
					19	安心できる地域医療の充実	やや遅れている (やや遅れている)	適切 (適切)	やや遅れている (やや遅れている)	県の施策による自治体病院等(県立病院を除く)への医師配置数	A
										救急搬送時間	C
										病院及び介護サービス施設、事業所に従事するリハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)の数	A
										新規看護職員充足率	C
					20	生涯を豊かに暮らすための健康づくり	概ね順調 (やや遅れている)	適切 (適切)	概ね順調 (やや遅れている)	65歳平均自立期間(男性)	B
										65歳平均自立期間(女性)	B
					21	高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり	順調 (概ね順調)	適切 (適切)	順調 (概ね順調)	3歳児の一人平均むし歯本数	A
										自殺死亡率(人口10万対)	A
										認知症サポーター数	A
										主任介護支援専門員数	A
										介護予防支援指導者数	A
					22	障害があっても安心して生活できる地域社会の実現	概ね順調 (概ね順調)	適切 (適切)	概ね順調 (概ね順調)	特別養護老人ホーム入所定員数	A
										介護職員数	A
										就労支援事業所等における工賃の平均月額	A
					23	生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	やや遅れている (概ね順調)	概ね適切 (適切)	やや遅れている (概ね順調) (※)	グループホーム・ケアホーム利用者数	B
										受入条件が整えば退院可能な精神障害者数	B
										「だれもが住みよい福祉のまちづくり条例」に基づく適合証の交付割合	C
公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数	N										
9	コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	やや遅れている (概ね順調)	適切 (要検討)	やや遅れている (概ね順調)	総合型地域スポーツクラブの設置数	B					
					総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率	B					
					みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)	C					
10	だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	概ね順調 (概ね順調)	適切 (適切)	概ね順調 (概ね順調)	商店街の空き店舗率	C					
					県内移動における公共交通の利用率	C					
					集落維持・活性化計画策定数	A					
		25	安全で安心なまちづくり	概ね順調 (概ね順調)	適切 (適切)	概ね順調 (概ね順調)	刑法犯認知件数	A			
							県内各市町村における「安全・安心まちづくり」に関する条例制定数	B			
							多言語による生活情報の提供実施市町村数	A			
26	外国人も活躍できる地域づくり	概ね順調 (概ね順調)	適切 (適切)	概ね順調 (概ね順調)	外国人相談対応の体制を整備している市町村数	A					
					日本語講座開設数	A					
					留学生の県内企業への就職者数	C					

政策番号	政策名	評価原案 政策の成果	県の評価原案 宮城県評価委員 の判定	評価結果 政策の成果	施策番号	施策名	評価原案 施策の成果	県の評価原案 宮城県評価委員 の判定	評価結果 施策の成果	【参 考】	
										目標指標等の名称及び達成度	
政策推進の基本方向3 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり											
11	経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	概ね順調 (概ね順調)	概ね適切 (概ね適切)	概ね順調 (概ね順調) (※)	27	環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献	概ね順調 (概ね順調)	概ね適切 (要検討)	概ね順調 (概ね順調)	県内における自然エネルギー等の導入量(原油換算)	C
										みやぎ環境税を活用した県及び市町村事業による二酸化炭素削減量	N
										太陽光発電システムの導入出力数	B
										グリーンエネルギー自動車の導入台数	B
										間伐による二酸化炭素吸収量(民有林)	A
										県民一人一日当たりの一般廃棄物排出量	A
12	豊かな自然環境、生活環境の保全	概ね順調 (概ね順調)	要検討 (概ね適切)	概ね順調 (概ね順調) (※)	29	豊かな自然環境、生活環境の保全	概ね順調 (概ね順調)	要検討 (概ね適切)	概ね順調 (概ね順調) (※)	一般廃棄物リサイクル率	B
										産業廃棄物排出量	A
										産業廃棄物リサイクル率	A
										豊かな自然環境の保護・保全を目的とした指定地域の県土面積に占める割合	A
										地域や学校教育と連携した農村環境保全等の協働活動に参加した人数	B
										松くい虫被害による枯損木量	A
13	住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	概ね順調 (概ね順調)	概ね適切 (概ね適切)	概ね順調 (概ね順調) (※)	30	住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	概ね順調 (概ね順調)	概ね適切 (概ね適切)	概ね順調 (概ね順調) (※)	閉鎖性水域の水質(COD)伊豆沼	B
										閉鎖性水域の水質(COD)松島湾	C
										アドブプログラム認定団体数	A
										農村の地域資源の保全活動を行った面積	C
										景観行政団体数	B
										14	宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり
緊急輸送道路の橋梁の耐震化完了数	B										
多数の者が利用する特定建築物の耐震化率	N										
河川整備等により、洪水による浸水から守られる区域	A										
土砂災害危険箇所におけるハード対策実施箇所数	A										
土砂災害危険箇所におけるソフト対策実施箇所数	B										
14	宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	概ね順調 (概ね順調)	概ね適切 (概ね適切)	概ね順調 (概ね順調) (※)	32	洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進	概ね順調 (概ね順調)	適切 (概ね適切)	概ね順調 (概ね順調)	土砂災害から守られる住宅戸数	A
										防災リーダー(宮城県防災指導員等)養成者数	B
										自主防災組織の組織率	B
14	宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	概ね順調 (概ね順調)	概ね適切 (概ね適切)	概ね順調 (概ね順調) (※)	33	地域ぐるみの防災体制の充実	概ね順調 (概ね順調)	要検討 (概ね適切)	概ね順調 (概ね順調) (※)	防災リーダー(宮城県防災指導員等)養成者数	B
										自主防災組織の組織率	B

- 「評価原案 政策の評価」は、政策を構成する施策の成果等から、進捗状況について「順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている」の4区分により評価しています。
- 「評価原案 施策の評価」は、本表に掲載している目標指標等の達成状況のほか、県民意識調査結果、社会経済情勢、施策を構成する事業の実績及び成果等を踏まえて、進捗状況について「順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている」の4区分により評価しています。
- 宮城県行政評価委員会の判定は、県の「評価原案 政策・施策の成果」の妥当性について「適切・概ね適切・要検討」の3区分により判定されたものです。
- 県では「政策・施策を推進する上での課題と対応方針」について、政策・施策の進捗状況等を踏まえて評価していますが、記述方式で評価を行っているため、本一覧には県の評価状況を掲載していません。また、宮城県行政評価委員会からは、県が示す課題と対応方針に対する意見を頂いています。具体的な内容については評価書を御覧ください。
- 「評価結果 政策・施策の成果」は、宮城県行政評価委員会の答申(判定及び意見)を踏まえて県の評価原案を見直し、最終的な評価を行った結果です。「政策・施策の成果」の「評価区分」を評価原案から修正した政策・施策はないものの、答申を踏まえて「評価の理由」の内容を修正したものについては、(※)印を付けています(具体的な修正内容は、評価書を御覧ください。)
- 「県の評価原案に対する宮城県行政評価委員会の判定」の()内には、平成22年度の判定結果を記載しています。また、「評価結果」の()内には、平成22年度の評価結果を記載しています。
- 目標指標等の達成度は、宮城県行政評価委員会の答申(判定及び意見)を踏まえた県の評価原案の見直しと合わせて、修正を行った結果です。達成度の区分は、次のとおりです。
A:目標値を達成している。 B:目標値は達成していないが、設定時の値(初期値)から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している。又は現状維持している。
C:目標値を達成しておらず、設定時の値(初期値)から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している。 N(判定不能):現況値が把握できず、判定できない。

